

2大でも、3大でもない。怒涛の4大コンチェルト!



東京室内管弦楽団

4 GREAT CONCERTOS BEETHOVEN · BRAHMS · MENDELSSOHN · TCHAIKOVSKY

小笠原伸子

《コンチェルトシリーズ Vol.8》

4大協奏曲の饗宴

ベートーヴェン:
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.61
Beethoven: Violin Concerto in D major, Op.61

ブラームス:
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77
Brahms: Violin Concerto in D major, Op.77

メンデルスゾーン:
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64
Mendelssohn: Violin Concerto in e minor Op.64

チャイコフスキー:
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.35
Tchaikovsky: Violin Concerto in D major, Op.35

小笠原伸子 (ヴァイオリン)
横浜バロック室内合奏団 &
東京室内管弦楽団

●10月25日(金)より発売

主催: 横浜バロック室内合奏団
東京室内管弦楽団
マネジメント: 神奈川芸術協会

2025
4月4日(金) 13:30開演
(16:30終演予定)

神奈川県立音楽堂

Kanagawa Prefectural Music Hall (JR市営地下鉄「桜木町駅」徒歩約10分・紅葉坂)

●全席指定(税込)
S席7,000円 S席シルバー (65歳以上) 6,500円 A席6,000円

●お申込み・お問合せ
神奈川芸術協会 045-453-5080
kanagawa-geikyo.com

●プレイガイド
横浜バロック室内合奏団 045-263-4127
東京室内管弦楽団チケットサービス 03-3438-2555 (平日10:00~17:00)
チケットかながわ 0570-015-415
チケットぴあ t.pia.jp (Pコード 280-880)
イープラス eplus.jp
ローソンチケット l-tike.com (Lコード 33919)

※やむを得ない事情により、曲順が変更になる場合がございます。
※未就学児童の入場はお断り致します。
※公演中止の場合を除き、ご購入いただきましたチケットの払戻しはできません。



芸協WEBチケット



70th Anniversary

Nobuko Ogasawara



横浜バロック室内合奏団

音楽界を牽引してきた小笠原伸子の生誕70周年記念にふさわしい

2大でも、3大でもない。

怒涛の4大コンチェルト!

神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター等を歴任し、拠点とする横浜を中心にソリストとしても音楽界を牽引してきた小笠原伸子が、やってくれる。2大でも3大でもない、怒涛の4大ヴァイオリン協奏曲の実現である。

立楽史に名を刻むこの4曲を並べて聴くことにより強調される、それぞれの光輝く個性—それは、実際に耳にしたものだけが初めて体験できる極めて貴重なものであることは言うまでもない。もちろん、思いついたとしても誰もが実現不可能として諦めるこの企画を、自身の生誕70周年という節目にやりきる小笠原伸子の胆力とバイタリティを一身に浴びることができる経験は、何にも代えがたい。

伝説として語り継がれるであろう、この偉大なる瞬間。思う存分、堪能したい。



70th
Anniversary
Nobuko Ogasawara

小笠原伸子 (ヴァイオリン)

東京藝術大学付属高校を経て、同大学、同大学院修了。井上武雄、福元裕氏に師事。大学在学中より、数多くのリサイタルを開催する一方、室内楽奏者として演奏会に多数出演。NHKFM出演。イタリアのシエナ、アカデミアキジアーナのマスターコースにて、サルトリレ・アッカルドに師事、ディプロマ・ディ・メリトを得る。

1979年より87年まで、神奈川フィルハーモニー管弦楽団に在籍し、コンサートマスターを歴任した。1981年横浜弦楽四重奏団を結成、第1ヴァイオリンを務める。1991年に横浜バロック室内合奏団を結成し、コンサートマスター、プロデューサーとして横浜を中心に広く活動。同合奏団では、2006年に第18回「ヨコハマ遊大賞」、2009年に「横浜文化賞文化芸術奨励賞」を受賞した。

2014年～東京室内管弦楽団コンサートマスターとなり、2014年12月にはロシアにてトムスクフィルハーモニックオーケストラ、ノボシビルスク室内管弦楽団と共演した。2015年より協奏曲シリーズを開始、毎年神奈川県立音楽堂にてベートーヴェン、メンデルスゾーン、チャイコフスキーの三大協奏曲を演奏し好評を博す。2018年4月には東京文化会館にて東京室内管弦楽団にてモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番のソリストを務め、好評を博す。

2001年～2019年毎夏イタリアのトスカナ地方の音楽祭に出演。2004年からは横浜みなとみらいホールにて毎年9月にバッハの無伴奏全6曲リサイタルを開催、2024年9月に第21回目を迎えた。2016年には無伴奏6曲のライブ録音CDをリリースし、またフィレンツェの教会にてバッハの無伴奏曲のリサイタルを行い好評を博す。

生活の中で身近に音楽に親しむ場を広げる事をライフワークとし、横浜バロック関内サロンでのサロンコンサート(2024年7月に875回目迎えた)や、横須賀の自宅でのホームコンサート(2024年現在204回開催)など息の長い活動を通して、音楽の普及に努める。

横浜バロック室内合奏団

1991年ヴァイオリニスト小笠原伸子(元神奈川フィルコンサートマスター)を中心に横浜で活躍する弦楽器奏者たちによって、結成されました。横浜みなとみらいホールでの年4回の定期演奏会をはじめ、小さなサロンでの身近なコンサートを年70回以上開いています。地域の文化に貢献した活動が認められ、2006年には「ヨコハマ遊大賞」を、2009年には「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」を受賞。2007年よりFMブルー湘南の音楽番組制作に協力し、団員のトークを交えたライブ録音が放送されています。今までにCD10枚をリリース。横浜みなとみらいホールでの定期演奏会では、バロックの名曲の数々と共に、知られざる優れた作品の紹介に努めています。ホームグラウンドの横浜バロック関内サロンでは毎週水曜日のランチタイムコンサートをはじめとして数々のコンサートを開催し、2024年7月には875回目を迎え、日常の中でゆったりと音楽と共に過ごす空間を提供しています。

東京室内管弦楽団

新しい「感動」と出会うオーケストラ——
1928年創立。95年に及ぶ伝統と多くの実績をもつ首都・東京の代表的な管弦楽団。1954年より、故いわくばさを代表・音楽監督指揮者となり、「求められる演奏活動」を掲げ、クラシックはもとより、独自の編曲による映画音楽、タンゴ・ポップス等を中心とした「ポップスコンサート」など、いち早くとり入れたオーケストラである。1964年より全国の学校を対象に〈オーケストラ鑑賞教室〉を展開。教育演奏活動は以来もっとも力を入れている活動のひとつであり、年間およそ50公演ほど行っている。自主公演(定期公演)は主に、室内管弦楽団の可能性を様々なアプローチで提唱する「Chamber Music Style」(東京文化会館小ホール・年3公演)、平日の午後、14:30開演「平日マチネ」(サントリーホールブルーローズ・年2公演)、オーケストラによるコンサートを身近に楽しみ、オーケストラの持つ可能性を追求するとともに、個性豊かで魅力溢れる音楽家、ソリスト(共演者)のパフォーマンスに特化した「Luxury Classics」(横浜みなとみらいホール小ホール)をはじめ、0歳から入場可能なコンサート「ぼくとわたしのコンサートデビュー」など、年間7公演・10公演行っており、その温かく伝統に彩られた格調のある音色はジャンルを問わず、様々な方面から高い評価を得ている。



木のホール
神奈川県立音楽堂

〒220-0044
横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
Tel.045-263-2567
<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

- JR・市営地下鉄「桜木町」駅
(南改札西口、北改札西口)から徒歩10分
- 京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩13分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅から
徒歩20分